

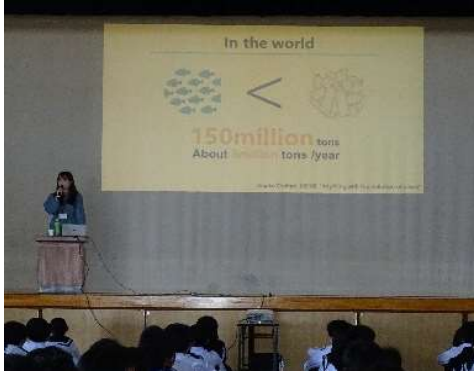


# サイコウ sci-**甲**! サイエンス 甲南高校

担当：1年6組（久保・入田）、2年3組（中間・山門）

## 1 先輩の研究に学ぶ～SS探究I（1年）

4月30日（金）1年生を対象にOGによる研究紹介が行われました。講師としてお招きしたのは卒業生の富永恵里衣さん（第72



期）です。高校時代に富永さんが行った海洋プラスチックに関する研究について流暢な英語で説明くださいました。そして、課題研究にあたって大切なのは「物事を色々な面から見る力」と「粘り強さ」であると教えていただきました。粘り強く多面的に課題について研究することによって、教科や学校、国の枠を越えて他者とつながり、自分の考えを広げることができたと話してくださいました。

富永さんの「出合いを大切に、テーマを見つけてほしい」という言葉が特に印象的でした。学校生活を有意義なものにしながら、課題研究にもしっかりと取り組んでいきたいという思いが強まりました。

## 2 研究に前向きに取り組もう！

### ～課題研究ワークショップ（1年）

5月14日（金）鹿児島大学農学部教授の遠城道雄教授による課題研究ワークショップが開催され、課題研究の取り組み方についてアドバイスをいただきました。

未知のことについて研究する場合は「その課題の現在位置を調べること」が、物事を様々な分野から立体的に見るためには「課題の全体像を考えること」が重要とのことでした。また、遠城先生は「論文とは事実に基づいて物語を書くことだ」と仰いました。仮説を立ててから結果に至るまでつながりのある文章を書くことが大事だということ



です。さらに印象に残っているのが「気にしない」という言葉です。遠城先生は私たちに「まだ最初だからうまくい

でも気にしない。でも、なぜうまくいかないのかを考えること。そして、結果が仮説とは違っても気にしない。新しい展開が待っていると考えよう。たとえ結果が出なかったとしても気にしない。研究の過程を学ぶことが大切です」と前向きな言葉をくださり、課題研究にポジティブに、そして積極的に取り組もうと思いました。

遠城先生の話聞いて、課題研究への取り組み方や構成など、重要なことがよく分かりました。今回のお話を今後の課題研究に活かしたいです。

## 3 研究テーマ決定！！～SS探究II（2年）

4月20日（火）2年生は研究テーマ編成がありました。物理・工学、化学、生物など分野別の研究グループに分かれ、グループのメンバーそれぞれがあらかじめ考えてきた具体的なテーマや研究の進め方などを発表し合いました。そして、先行研究に基づいたうえでどのような新規性が見込めるか、研究の規模や対象が実現可能かどうかなどを議論し合い、最終的にひとつの研究テーマに絞りました。

5月末現在では、リサーチクエスチョンを設定し、いよいよ6月から本格的に研究をスタートします。研究



には試行錯誤がつきものですが、今回初めて自分たちで考えたテーマで研究できるため、研究に対する楽しみも膨らんでいます。1年生の時に行った課題研究の経験を活かして、より深い研究となるように、メンバーと協力し合い、2年生みんなで頑張っていこうと思います。

## 4 ニホンミツバチ研究員募集中！！

### ～自然科学部～

自然科学部は2年生10名、1年生3名の計13名で活動しています。毎週水曜日に生物実験室で、主に自分の興味のあることを実験のテーマに設定して研究しています。5月から6月にかけては、1年間かけて行う個人実験の構想を練っています。



今後は自然科学部特別プロジェクトとして、ニホンミツバチの飼育等を行います。部員以外でも参加OKです。興味のある方はぜひ参加してください！

ミツバチにもニホンミツバチとセイヨウミツバチがあります。ニホンミツバチの方が濃厚で甘い蜂蜜が取れるそうですよ♪